



限りある資源と美しい自然を大切に

MODEL FT-3137

12本掛け定荷重定歪み疲労試験機

12-Ch CONSTANT STRESS/STRAIN FATIGUE TESTER

概要

12本掛け定荷重定歪み疲労試験機は、ダンベル状又は短冊状試験片に、定荷重又は定ひずみの静的負荷を与え、一定のひずみで繰り返し入力を与えたときの試験片が破断するまでの回数を測定する引張疲労試験機で、最大12本の試験片を同時に試験することができます。

定ひずみ（伸張）モードの試験のときは荷重を、定応力（荷重）モードでの試験のときは伸びを試験中にモニタリングし、PCの画面にリアルタイムで表示します。

定応力試験モードを用いれば、従来の定ひずみ疲労試験機での問題点の一つであった試験中の試験片のたるみ（バックリング）による疲労回数のバラツキが解消でき、材料の疲労特性が精度良く求められ、実機により近い疲労試験が可能となります。



MODEL FT-3137



QMS . EMS
ISO 9001
ISO 14001
JSAQ1320, JSAE1529



JAB
CM001

株式会社 上島製作所

UESHIMA SEISAKUSHO CO., LTD

特 長

- 一回の試験で最大12本の試験片の連続運転が可能。
- 試験片が破断した回数を自動で検知する機構を全軸に装備し、全試験片が破断した場合自動で試験機を停止する機構を標準装備。
- S-N線図（荷重—試験回数又は伸び—試験回数）を試験中PC画面上にリアルタイム表示。
- 試験結果はCSVファイルで保存。
- 試料をチャックに取り付ける際に有効な回転ハンドルを標準装備。

仕 様

MODEL	FT-3137
準拠規格	JIS K 6270-1-2002, ISO 6943-1998 (定ひずみ法)
試験片数	12個 (ダンベル状2・3号試験片)
周波数	1~5 Hz (インバータ制御)
下部チャック側 ストローク	3~60 mm (偏芯輪調整ストローク)
上部チャック側 ストローク	0~200 mm (試験片により制約あり、電動アクチュエータ駆動)
荷重検出	ロードセル (定格300N) × 12個
最大試験回数	6桁 (×10回)
伸び検出	エンコーダ (分解能0.1mm)
温度	1) 室温+10°C~150°C 2) デジタル指示調節器 3) Pt100Ω温度センサによるPID制御
チャック可動機構	1) 試験片取り付け時にハンドルによる下側チャック移動機構 2) 試験片取り付け時にPC操作による上部チャック移動機構
ソフトウェア	1) 試験データの取得 2) 試験条件の設定と入力 3) 試験結果の表示 4) 試験結果の保存 (CSV形式)
パソコン	Windows 10
ユーティリティ	電源 : 三相 AC200V 50/60Hz 60A (本体) 単相 AC100V 7A (PC) 圧縮空気 : 0.5 MPa (乾燥空気)
寸法・質量	1820 (W) × 820 (D) × 2320 (H) mm 重量 : 約1600kg *寸法及び質量は本体のみです。 PC及びオプションなどは含まれておりません

UESHIMA SEISAKUSHO CO., LTD.

株式会社 上島製作所

本社・工場 ● 〒186-0011 東京都国立市谷保 6-5-22
TEL. 042-572-1397 FAX. 042-573-1520
E-mail: sales@ueshima-seisakusho.com
大阪営業所 ● 〒540-0038 大阪市中央区内淡路町 1-3-14
(橋本ビル 402)
TEL. 06-6942-1631 FAX. 06-6942-9702
E-mail: osaka@ueshima-seisakusho.com

<http://www.ueshima-seisakusho.com>

■UESHIMA 製品に関するご意見、ご質問、見積等のご請求、お問い合わせ